



壱岐高便り

第162号

発行責任者
平山 啓一



携帯
サイトへ

長崎県立壱岐高等学校

[TEL]0920-47-0081

長崎県壱岐市郷ノ浦町片原触88

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



「令和を迎える」

校長 平山啓一



春冷えの三月、今年も卒業生や先生方が旅立っていきました。後ろ髪にも似たテープが人々の想いを断ち切るように宙を舞う光景は、旅立つ者にも残された者にも新たな生活への覚悟を迫る思いがします。島を離れた卒業生や先生方の、新天地での活躍をお祈りします。

4月1日、新年号「令和」が発表されました。「人々が美(うるわ)しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味に、「一人ひとりの日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる」との願いが込められています。新たな時代の始まりの年に、本校は創立百十周年という大きな節目を迎えます。加えて、新年号に込められた願いと、「拓け輝け 羽ばたけ」という百十周年のスローガンに込めた思いが重なることに、高揚感を感じたのは私だけでしょうか。そんなことを考えながら、新年号のニュースを聞きました。

さて、春風が桜の花を揺らすようになると、新たな生徒や先生方も加わり、新年度がスタートしました。今年の新入生は、離島留学生12名を含め150名です。3日間の校内研修も無事に終わり、緊張した面持ちも少しずつ笑顔に変わってきている様子です。良い緊張感は維持しながらも、早く自分のペースをつかんでほしいものです。一方、2・3年生も上級生としての雰囲気を感じます。やはり新学期はいいものです。

新年度を始めるにあたり、「壱岐高校が目指す生徒」を明確にしました。

『自己へのリーダーシップと他者へのフォロワーシップを身につけ、

よりよい未来を切り拓いていこうとする生徒』

『自己へのリーダーシップ』とは、自己統率力という意味です。自分自身を叱咤激励したり背中を押してあげたりするなど、自分の目標に向けて自分をリードできる人に成長してほしいと思います。

『他者へのフォロワーシップ』とは、他人を支援するという意味です。自分の立場や役割の中で、どのような支援ができるかを常に意識し行動できる人に成長してほしいと思います。人は必ず何がしかの集団に属しますが、どのような集団でも8割の人はフォロワーを努めます。これからの社会では、指示待ちや従順なフォロワーを抱える集団は成長できません。どのような立場のフォロワーでも、当事者意識をもってリーダーを支援する主体性が必要となります。身近な人へのフォロワーシップを身につけることで、社会で求められるフォロワーへと育ててほしいと思います。

「自己へのリーダーシップと他者へのフォロワーシップ」を身につけた壱岐高生が、「令和」という時代をよりよく切り拓いてくれることに思いを馳せて、この一年に取り組んでいきたいと思います。

第 3 学 年 よ り

いよいよ72回生も最高学年となり、高校生活も残り1年となりました。1年次に「高校生活3年間をどう過ごすかで、君たちの将来が変わる。君たちの可能性は無限大です。」という話をしました。今年度は自分の可能性を信じ、『進路実現』という大きな目標に向かって、ひたすらに、ただ真っ直ぐに努力を重ねてください。

さて、72回生はこの2年間で、学習と部活動の両立に励んできましたが、その部活動も残りわずかとなります。先輩や先生方から学んできたことや日々の練習で身に付けたことを十分に発揮し、これまで支えてくださった保護者や多くの方々への『感謝』の気持ちを忘れず、悔いを残すことなく完全燃焼してほしいと思います。

保護者の皆様におかれましては、残り1年間、お子さまの希望進路の実現に向けて、学年職員14名しっかりとサポートしていきますので、ご家庭での激励やご指導、心身面の観察をよろしくお願ひします。



第 2 学 年 よ り

新年度がスタートし、73回生168名もいよいよ2年生になりました。今年度も「全力で創る未来への架け橋」をスローガンに、73回生が全力で高校生活を全うできるよう2学年職員一丸となって支援していきたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願ひします。

さて、この2年生は学習・部活動ともに深化する学年になります。学習内容は難化し、質・量ともに向上します。部活動においても先輩が抜け、自分たちが中心となり、運営していくことになります。そんな2年という学年で、73回生には大きな目標を掲げ、学習や部活動に全力で取り組んでほしいと思います。



保護者の皆様におかれましては、全力で取り組み挑戦するお子様を、さまざまな場面で支えていただければと思います。また、5月にはPTA総会の際に学年PTAも計画しております。多数の参加をお待ちしております。

第 1 学 年 よ り

4月8日(月)の入学式に始まり、課題テスト、校内研修、各種検診、部活動への入部など、香岐高74回生の150名



にとって、4月は激動のひと月だったことと思います。中学生から高校生になり、新たな環境での生活、新たな人々との出会いに刺激を受けながら大きく成長してくれることを期待しています。

入学式では、期待と不安が入り混じった様子で、緊張しながら式に臨む姿が初々しく映りました。保護者の皆様にも多数の御参列をいただきましたことを御礼申し上げます。

校内研修では、高校生活がスムーズに送れるよう、授業のガイダンスなどの学習面、挨拶や容儀などの生活面の指導に加え、クラスのレクレーション・目標決め、校歌コンクールなど様々な活動に取り組みました。特に、校歌コンクールでは、各クラスとも個性豊かな発表となりました。最優秀賞は1年5組(東アジアコース)が獲得しましたが、どのクラスも一生懸命に取り組んでくれたと思います。今回の研修内容が今後の生活にもしっかりと根付いてくれることを期待しています。



校内研修の様子

新転任者紹介

4月の人事異動により、新たに11名の職員が本校に着任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

<p>臼山 修</p>  <p>地歴 西彼杵高校より</p>	<p>荒木昌望</p>  <p>音楽 佐世保西高校より</p>
<p>村上富美</p>  <p>地歴 長崎西高校より</p>	<p>松永六十四</p>  <p>保健体育 猶興館高校より</p>
<p>吉川 薫</p>  <p>地歴 島原高校より</p>	<p>前田悠太</p>  <p>英語 猶興館高校より</p>
<p>指方一樹</p>  <p>数学 長崎南高校より</p>	<p>秋月直剛</p>  <p>英語 佐世保南高校より</p>
<p>李若楠</p>  <p>中国語 上海外国語大学より</p>	<p>尾崎拓朗</p>  <p>実習助手 佐世保工業高校より</p>
<p>重野稔貴</p>  <p>事務室 県教委より</p>	

1	水	【即位の日】
2	木	【国民の休日】
3	金	【憲法記念日】
4	土	【みどりの日】
5	日	【こどもの日】
6	月	学校開放(半日)
7	火	部活動休止～5/14
8	水	夏服販売①
9	木	LHR(文化祭企画検討)
10	金	尿検査
11	土	学校開放(半日)
12	日	P T A総会
13	月	【代休5/12】
14	火	中間考査 ②③
15	水	中間考査①②③ 容儀検査
16	木	高総体前【短縮】(～5/31) LHR(教育心理検査①) 歯科検診
17	金	生徒評議員会
18	土	学校開放(終日)
19	日	
20	月	内科検診③
21	火	
22	水	文理選択説明会① 内科検診③
23	木	LHR(第1回生徒総会) 体育部主将会 行進練習(～5/29)
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	耳鼻科検診①
28	火	眼科検診①(14:00～)
29	水	生徒会役員選挙告示 高総体推戴式(7校時)
30	木	【代休6/1土】
31	金	高総体特別時間割(45分午前中日課) 県高総体総合開会式 第1回英検一次

各分掌から

生徒支援部より

昨年度まで生徒指導部、生徒会・美化部、保健相談部であった3つの分掌が本年度から生徒支援部という名称のもと統合されました。業務は生徒の実際生活に関わる部分であり、これまで通り、全ての生徒が心地よく生活でき、また、進路実現の礎となる規律ある環境の充実のため、時には厳格な激励と時には暖かい支援を目指して指導を行ってまいります。保護者の皆様におかれましても、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ある入学式の祝辞で、「恵まれた環境と恵まれた能力とを、（中略）ひとびとを助けるために使ってください。そして強がらず、自分の弱さを認め、支え合って生きてください。」と述べられていました。いかなる社会であっても、人と人の繋がりは大切です。縁あって集った全ての吉崎高生が思いやりの気持ちに溢れ、いっそう「愛される吉崎高、応援される吉崎高」となるべく生活していくことを願っています。

進路支援部より

本年度より、「進路指導部」は「進路支援部」と名を改めて、進路指導、図書・研修等の面で生徒の支援を行ってまいります。よろしくお願いいたします。

さて、72回生は最高学年となり、進路を決

定する1年が始まりました。職員室やいろいろなところで、担任や副担任と生徒が向き合って進路について真剣に話をする姿が見られ、3年生としての自覚が出てきたように見受けられます。面談を通して感じることは、自分の考えを持ってはいるけれど、なかなかそれを伝えることができない、ということです。社会が多様化していく昨今ですが、不易な資質の1つに「コミュニケーション力」があります。受験や就職試験で面接が課される場合が多いので、この1年間は、担任を中心に多くの先生方と面接の練習をすると思いますが、進路実現のための丸暗記の面接、ということではなく、大人としてきちんと会話ができるようになって欲しいと思います。たくさん先生と話をして下さい。人間力の高まりの先に学力の向上もあると考えています。

73回生からは新テスト「大学入学共通テスト」が始まります。すでに発表されている、記述式問題の導入や、英語4技能（読む・書く・話す・聞く）の評価等の学力面だけではなく、「主体性をもって多様な人と協同して学ぶ態度」をより積極的に評価するために、出願者本人が記載する資料等を積極的に活用する大学が増える見込みです。先の見えない状況が続いていますが、進路支援部としても情報提供を行ってまいりますので、保護者の皆様もお子さまともに進路意識を高めていただきたいと思います。

東アジア歴史・中国語 コース

今年度は東アジア歴史・中国語コースに19名の生徒が加わりました。そのうちの12人が離島留学生として、県内外より入学し、本校での3年間の学校生活をスタートさせます。新入生のこれからの3年間で実りあるものになることを、心より願っています。



～李先生コラム『自己紹介』～

上海から参りました、中国語講師の李若楠と申します。中国河南省の出身です。大学で日本語を専攻していて、いつか日本を訪れたいと思っていました。今回吉崎高校に講師として赴任することができて大変うれしいです。生徒の皆さんや地域の皆さんとのつながりを大切にして、たくさんの思い出を作りたいです。よろしくお願いいたします。

